

令和5年度第1回広島市環境審議会 議事要旨

1 日時

令和6年1月31日（水）午後2時～午後4時

2 場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席委員

西嶋 渉（会長）、田中 貴宏（副会長）、井原 美恵子、植木 重夫、大浜 裕香、沖村 理史、
奥野 泰識、新宮原 充、鉄村 忠基、土井 徹、徳本 博志、内藤 佳奈子、内藤 望、
中西 伸介、縄手 淳子、原 公子、松川 太一、村田 和賀代

4 次第

- (1) 開会
- (2) 局長挨拶
- (3) 委員の紹介
- (4) 会長・副会長の選任
- (5) 議事

報告1 第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和4年度）について

報告2 広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和4年度）について

- (6) 閉会

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

0名

7 会議資料

- 令和5年度第1回広島市環境審議会 次第
- 令和5年度第1回広島市環境審議会 配席表
- 広島市環境審議会委員名簿
- （報告1）第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和4年度）について
- （報告2）広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和4年度）について
- （参考資料1）広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況一覧表
- （参考資料2）市域の温室効果ガス排出量（令和2年度確定値及び令和3年度速報値）
- （参考資料3）施策体系別の内訳（新計画）
- （参考資料4）重要業績評価指標(KPI)（新計画）
- 広島市地球温暖化対策実行計画

8 議事要旨

発言者	発言要旨
西嶋渉会長	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、報告1の「第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和4年度）について」、事務局から説明をお願いします。
環境政策課長	<p>【報告1 第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和4年度）について説明】</p>
西嶋渉会長	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、事務局からの説明について、御意見、御質問等はないか。
土井徹委員	<ul style="list-style-type: none"> • 項目番号12「イノシシ等による農林業等に係る被害額」について、資料中の「防除・駆除・環境整備の推進により、被害低減に努める。」とあるが、具体的にはどういった取組をしているのか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> • 環境整備とは、市街地等と鳥獣が生息する森林との緩衝帯として、鳥獣の隠れ場となっている荒廃した森林を間伐し、鳥獣が出没しにくい環境を整備する取組のことである。 • また、防除・駆除についても、広島市鳥獣被害防止計画に基づき、本市における対象鳥獣の捕獲等はもちろん、市民への防除方法の指導やわな等の設置費用の補助等を行っている。
土井徹委員	<ul style="list-style-type: none"> • おっしゃるように、鳥獣の潜み場をなくすことが1つの大きな対策だと考えている。 • また、思い付きではあるが、例えば、鳥獣の潜み場をなくすための草刈りを環境関係のイベントとして開催することで、市民の方々が楽しみながら鳥獣被害対策を行える、といったことも考えた。項目番号14「自然との触れ合い事業の参加者数」とも関係するかもしれない。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> • 関係各課に共有し、連携して取り組んでいきたい。
新宮原充委員	<ul style="list-style-type: none"> • 項目番号32「光化学オキシダント」に係る環境基準達成率について、計画策定時からこれまですべての測定局で未達成という結果であるものの、現状を評価するためには、環境基準を達成していなかった日数、測定最大値の推移を示していただく方がよい。これは、項目番号36「生活環境の保全に関する項目（海域のCOD）」に関しても同じである。
西嶋渉会長	<ul style="list-style-type: none"> • 環境基準は達成していないながらも、改善傾向にあるかどうかを確認することは大切だと思うが、いかがか。
環境保全課長	<ul style="list-style-type: none"> • 光化学オキシダントに関しては、昼間の1時間値が環境基準値を超えた日数と時間数、昼間の1時間値の最高値を、「広島市の環境（環境白書）」において毎年度公表しており、比較するためのデータはすでにある。また、海域のCODに関しても同様に、各水域の各測定地点における環境基準に適合しない日数を、「広島市の環境（環境白書）」にて公表している。今後はこれらを参考値として併記し、評価していければと思う。 • それらの具体的な傾向としては、光化学オキシダントは、昼間の1時間値が環境基準値を超えた日数と時間数、最高値ともに、だんだん減ってきているも

発言者	発言要旨
	<p>のの、最近はほぼ横ばいという状況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海域のCODに関しては、昔と比べるとだんだん改善してはいるが、近年広島湾の水質が綺麗になり過ぎているという意見もいただく中で、関係機関で必要な対策に係る調査研究が進められている状況である。 ・ また、光化学オキシダントについては、現在環境省中央環境審議会において基準値の見直しを行っているところであり、今後もその動向に注視して参りたい。
中西伸介委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目番号 39「自動車騒音」について、昨年度から改善しており非常に良いことだと思っている。なお、市内では、広島駅周辺を始め、様々な再開発事業が行われたり、新サッカースタジアムが建設されたりと、今後人や車の流れが変わることが見込まれる。その動きは注視いただき、必要に応じて測定地点の変更等が必要だと感じるが、いかがか。 ・ また、項目番号 40「鉄道騒音（新幹線）」について、目指すべき方向に向かっていない要因として、「工事等の影響を受けて一部の測定地点で暗騒音が大きくなり」とあるが、これが鉄道事業者に関係のない工事なのであれば、鉄道事業者ではなく、工事を行っている事業者に対する指導が必要である。一過性の工事であれば今後改善が見込まれるが、そのあたりの状況はどうか。
環境保全課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車騒音の測定地点については、新しい道や施設ができたことで車の往来が変われば、その状況を踏まえて検討していきたいと考えている。現在も国道・県道等の主要な道路については毎年測定している一方、その他の地点は5年かけて市内全域をローリング調査することとしており、最新の状況を踏まえて測定地点を検討することとしている。 ・ 今回の改善要因としては、東広島バイパスが全線開通したことにより、国道2号線の走行車両が減り、その沿道家屋への騒音状況がよくなったことによると推察される。 ・ 鉄道騒音の測定については、計画策定時よりも環境基準適合地点が減少している要因としては、鉄道事業者に関係のない周辺工事に関するものと推察されるものの、当該工事は一過性のものであり、今後は改善される見込みである。
松川太一委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境の保全に関する指標について、計画期間中の値が把握できていないものが多い。今後把握できる見込みがある指標はよいが、見込みがない指標については、現計画の最終年度において目指すべき方向に向かっているかどうかをどう評価するのか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ データが公表されなくなり、把握できなくなった指標として、例えば、施策の方針「健全な水循環の確保」にある項目番号1「カキ（殻付き）養殖生産量」は、令和元年度以降の市町村別データの公表が無いという状況であるものの、現行計画で指標として定められており、これを現時点で変えるということは難しいが、広島県全体のカキの収穫量については毎年データの公表があることから、こういった別の参考となるデータを把握していき、計画全体の最終的な評

発言者	発言要旨
	<p>価の際にはこれらを評価していくということを考えている。</p>
松川太一委員	<ul style="list-style-type: none"> 類似データを最終的な指標に置きかえるというところまで考えているのか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定時に把握できていた数値が今後把握できなくなるということが、どうしても発生するおそれがある。それらの指標については類似のデータ等含め、代替データによる一定の評価が可能かどうかを改めて検討し、そのうえで、当該指標について、最終評価をするということになると考えている。
松川太一委員	<ul style="list-style-type: none"> 施策の方針「健全な水循環の確保」に関する指標等が1つしかないため、どうしても代替のデータが必要と思う。
西嶋渉会長	<ul style="list-style-type: none"> 施策の方針「健全な水循環の確保」は、主に生物生産に係る内容ではあるものの、第3節の「生活環境の保全」の水環境の保全に係る指標等と関係が深いと思うため、最終的なまとめを行う際にはそれらも関連して検討することになると考える。
村田和賀代委員	<ul style="list-style-type: none"> 項目番号14「自然との触れ合い事業の参加者数」について、これは施設への来場者数なのか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 項目番号14「自然との触れ合い事業の参加者数」は、施設の利用者ではなく、事業の参加者数である。項目番号14の「要因等」の欄に〔参考〕として、自然との触れ合い事業を記載しており、「森林公園自然体験活動推進事業」や「安佐動物公園動物とのふれあい事業」など、施設ではなくソフト事業の、令和4年度の参加者数の合計を指標等の数値として示している。
村田和賀代委員	<ul style="list-style-type: none"> 今後、新型コロナウイルス感染症による感染拡大状況がよくなって、自然との触れ合い施設や事業への利用者数や参加者数も回復すればよいが、競合するレジャー施設やこれまで外出を控えていた室内商業施設等にも人流が回復することが見込まれ、思うように利用者数等が伸びないことも懸念される。自然との触れ合い施設や事業に人が戻ってきてくれるよう、今後も利用者数等の向上に繋がる工夫が必要であると考えている。
井原美恵子委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料にもあるように、市では様々なよい施策や取組をしているが、その情報が市民まで届いていない状況にある。情報発信の方法について既に御検討いただいているとは思っているものの、改めて再度工夫いただきたい。 これはその1つの例であるが、市民側がごみ収集に関して、年明けの収集日の変更に気付かず、多くの人々が定例の曜日どおりにごみ出ししたところ、収集が行われず非常に困ったということがあった。市は正確な情報を発信しているが、その方法やタイミングが原因で市民にその情報が届いていない。身近な情報だからこそ的確に届くよう、これまで以上に知恵と工夫をお願いしたい。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 正確な情報をわかりやすく伝えることは大変重要なことであり、それによって、ごみの減量・リサイクルの促進をはじめ、あらゆる施策の向上に繋がっていく。市民に分かりやすい周知方法について検討していきたい。ごみ収集日の件については、担当課にも共有する。
田中貴宏副会長	<ul style="list-style-type: none"> 項目番号47「緊急搬送熱中症患者数」について、事務局から、熱中症患者数

発言者	発言要旨
	<p>の増加は気温の上昇と関係があるかもしれないとの説明があったが、他都市のデータ等を見ても一定の相関がありそうだと思っている。そうだとすると、令和5年度は令和4年度より、緊急搬送熱中症患者数が多くなると予想される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気温の影響が大きいとすると、大きなトレンドとして今後も気温が上昇していく中で、資料にある「市のホームページにおける熱中症予防の啓発活動」も短期的には非常に重要な取組であるが、例えば、温暖化対策実行計画にある暑熱対策や、環境基本計画にある街の緑化等の取組など、長期的な取り組みとして、街の暑熱環境を少しずつ良くしていくことも必要と考える。
温暖化対策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係各課と連携しながら取り組んでいきたい。
西嶋渉会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのほか、御質問が無いようであれば、最後の議事に移る。 ・ 報告2の「広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和4年度）について」、事務局から説明をお願いします。
温暖化対策課長	<p>【報告2 広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和4年度）について説明】</p>
西嶋渉会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、事務局からの説明について、御意見、御質問等はないか。
中西伸介委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料4「KPI(新計画)」中の「新築の戸建住宅・集合住宅のZEH化」については、算定に当たり、Nearly ZEHやZEH Oriented等も対象としているのか。
温暖化対策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ZEHの全てのランクを対象としている。
中西伸介委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ZEH化の割合を調査するのは大変だが、より正確な統計値を出すために、どのように取り組んでいるか。
温暖化対策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新計画で新しく設けたKPI「新築の集合住宅のZEH-M化」の割合の把握方法について、現在検討しているのは、市の全着工件数に占める、市内の主な分譲集合住宅建築事業者から聞き取った着工件数の割合である。令和4年度実績は、全6,759戸に対してZEH-Mが103戸で1.52%である。また、国においても、算出方法は異なるが、令和2年度実績1.21%と低い状況である。より正確な把握方法について検討を進めたい。
中西伸介委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築確認申請に当たり、省エネ基準適合が、現在は努力義務であるが、今後は義務となる。是非、正確に把握し、推進していったほしい。
縄手淳子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭用燃料電池とは、どのような装置、どのくらいの価格で、どのようなところで紹介されているか。
温暖化対策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭用燃料電池とは、ガスから取り出した水素と空気中の酸素を反応させて、電気と熱を発生させる設備、いわゆるエネファームのことで、家電量販店のチラシなどでも紹介されている。 ・ 価格は、設置工事費を含め100万円程度である。
縄手淳子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給湯器更新の際に導入するには、金額的にハードルが高いと思うが、今後の価格や普及の見込みはどうか。
温暖化対策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭用燃料電池の設置については、国と市の補助を併せて利用される方が多い。市の補助については、今年度、募集台数にほぼ達している状況で、来年度

発言者	発言要旨
	も実施する予定であり、普及を進めている。
新宮原充委員	<ul style="list-style-type: none"> 参考資料1「広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況一覧表」において、施策名に【新規】と記載してあるものは、どういう意味か。 13項目について、平成29年度から令和4年度までの間ずっと検討中となっているが、計画期間中に何らかの検討結果は出ないのか。
温暖化対策課長	<ul style="list-style-type: none"> 旧計画を策定するに当たり、新しく開始した施策に【新規】と記載している。 13項目のうち、4項目(4施策)については、新計画でも引き続き実現に向けて検討を続けることとし、9項目(再掲分を除くと6施策)については、状況変化等に伴い必要性が低くなったことから削除した。
新宮原充委員	<ul style="list-style-type: none"> 旧計画で検討中だった項目のうち、新計画において施策として実施しているものがあるか。例えば、「市役所における環境配慮契約の導入推進」について、新計画の88頁に、再生可能エネルギー電力の調達とあるが、太陽光発電等を行っている事業者から電力を買うなどの施策へ方向性を変えたということがあるか。
温暖化対策課長	<ul style="list-style-type: none"> 旧計画では、電気の供給に係る環境配慮契約(温室効果ガス排出削減の観点から、入札参加資格を設定し、基準値を満たした事業者の中から価格に基づき落札者を決定)について検討してきたが、電気の供給状況や温室効果ガス排出削減効果等を勘案した結果、具体的な成果が見込めないため、現時点では採用していない。 再生可能エネルギー電力の調達については、検討を進めており、また、再生可能エネルギーの導入についても、間もなく開業する広島サッカースタジアムに200kWの太陽光パネルを設置するなど、取組を進めている。
井原美恵子委員	<ul style="list-style-type: none"> KPI「住宅の照明について、8割以上LED照明を導入している市民の割合」の旧計画の短期目標(令和2年度)50%について、80%くらいを目指そうというのでもなく、令和4年度の達成率も30%程度で、やってもやらなくてもよいような雰囲気であり、目標として微妙な感じがする。
西嶋渉会長	<ul style="list-style-type: none"> 使えるものをいきなり全部LED照明に交換するのは、廃棄の問題や器具の寿命を踏まえると現実的ではなく、壊れたら順次LED照明にしていくと考えると、50%という目標もあるのではと思う。
西嶋渉会長	<ul style="list-style-type: none"> 報告2の4頁の代替フロン等4ガスの排出量について、新計画108頁における同ガスの算定方法に地球温暖化係数の記載がないが、同係数を掛けて算定しているか。
温暖化対策課長	<ul style="list-style-type: none"> そのように算定している。
西嶋渉会長	<ul style="list-style-type: none"> 他にないようであれば、本日の会議を終了する。貴重な意見を頂き、感謝する。